

2002年第23週報告分

- ・発生動向総覧 / 調査票通信
- ・全数届出患者数一覧表
- ・定点報告疾病集計表
- ・疾病別グラフ(四類定点週報告分)
- ・病原体検出情報(表・グラフ)
－腸管出血性大腸菌感染症・手足口病－
- ・年齢階級別累計表
- ・保健所別累計表
- ・保健所別定点当たり累計表

2002年5月報告分

- ・発生動向総覧 / 調査票通信
- ・疾病別グラフ(四類定点月報告分)
- ・年齢階級別累計表
- ・保健所別累計表
- ・医療圏別累計表

感染症豆知識

つ つ が 虫 病

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都立衛生研究所疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/



(全数情報)

- ・細菌性赤痢が4件報告された。菌型はフレキシネル菌1件(推定感染地:インドネシア・ジャカルタ)、ソネ菌3件(推定感染地:インド、フィジー)である。
- ・腸チフスが1件報告された。推定感染地は不明である。
- ・パラチフスが1件報告された。推定感染地はインドで、18週に報告があった症例の再発であると考えられる。
- ・腸管出血性大腸菌感染症が3件報告された。菌型はO157が2件(VT2産生株1件、VT1+VT2産生株1件)、O26が1件(VT1産生株)である。入院は1件あったが、HUSの報告はなかった。
- ・アメーバ赤痢が3件報告された。推定感染地は国内1件、アメリカ1件、不明1件で、推定感染経路は同性間性的接触2件、不明1件である。うち1件は、HIV感染症を合併している。
- ・急性ウイルス性肝炎が7件報告された。病原体別ではA型3件(3件とも経口感染)、B型2件(異性間性的接触1件、不明1件)、C型1件(その他)、A型とEBウイルスの混合感染1件(経口感染)であり、推定感染地は国内6件、パキスタン1件である。
- ・Q熱が7件報告された。7件とも16週で報告のあった同一の医師からの報告である。診断方法は、病原検査4件、血清学的検査3件である。7件中5件は動物(犬、猫、リス)との接触があった。
- ・HIV感染症が14件報告された。AIDS3件、無症候性キャリア10件、その他(アメーバ赤痢)1件で、推定感染経路は異性間性的接触4件、同性間性的接触6件、両性間性的接触1件、不明3件である。
- ・ジアルジア症が1件報告された。推定感染地はベトナムである。
- ・梅毒が2件報告された。どちらも早期顕症梅毒 期で、推定感染経路は異性間性的接触である。

(推定される感染地は医師の届出によるものです)

(定点情報)

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、伝染性紅斑は例年より多い。手足口病、ヘルパンギーナ、MCLSが増加している。

(病原体情報)

- ・菌株で搬入されたMRSA5株のコアグラゼ型は 型4株と 型1株で、溶血性レンサ球菌8株のT型はT-1型3株、T-3型3株、T-4型2株であった。
- ・定点から搬入された咽頭拭い液3件からコアグラゼ 型のMSSAと、T-4型とT-12型の溶血レンサ球菌が検出された。

- ・上気道炎患者の鼻汁から単純ヘルペスウイルス 型が分離された。
- ・ヘルパンギーナ、手足口病、無菌性髄膜炎等の患者 10名の検体からエンテロウイルスが検出された。このうち胃腸炎を伴った小児からはアデノウイルスも検出された。
- ・胃腸炎患者 2名の糞便からA群ロタウイルスが検出された。
- ・流行性耳下腺炎患者 2名の髄液、咽頭拭い液からムンプスウイルスが検出された。
- ・上気道炎、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、胃腸炎、発疹等の患者 7名の咽頭拭い液、便からアデノウイルスが検出された。
- ・不明発疹患者の咽頭拭い液からパルボウイルス B 19が検出されたが、この患者からはエンテロウイルスも検出されている。
- ・川崎病患者の咽頭拭い液からヒトヘルペスウイルス 6型が検出された。
- ・髄膜炎患者 2名と上気道炎患者 2名の髄液、咽頭拭い液からエコーウイルス 13型が分離された。
- ・発疹の乳児 (6ヶ月)と胃腸炎の乳児 (11ヶ月)の咽頭拭い液から、それぞれポリオウイルス 1型とポリオウイルス 2型が分離された。
- ・アデノウイルス遺伝子が検出された痙攣重積患者の糞便からアデノウイルス 1型が検出された。
- ・感染性胃腸炎集団発生1事例の患者検体5件からSRSVが検出された。
- ・多摩地区の定点から搬入された感染性胃腸炎患者3名の糞便のうち、2名からカンピロバクターが検出され、残りの1名からロタウイルスが検出された。
- ・定点から搬入された血清6件中1件から梅毒特異抗体が検出された。
- ・保健所から搬入された血清38件中9件と定点から搬入された血清6件中4件からクラミジア・トラコマチス特異抗体が検出された。
- ・定点から搬入された頸管拭い液13件中2件からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出された。

(その他の情報)

- ・ウイルス関連疾患では、いまだに肺炎の検体搬入が多い。

調査票通信

定点医療機関からのコメントを掲載

中野

- ・2～3の幼稚園、保育園、及び数校の小学校で手足口病の流行あり。例年と比べて学童の発疹がひどい感じあり。何れも発熱は殆ど無いが、最初口内炎が軽い、3～5日目に口内炎がひどくなり、食事もとれない例が多い感あり。

全数届出患者数一覧表 2002年23週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		20週	21週	22週	23週	年累計	23週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	ペスト							
	マ・ルブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	コレラ			1		4		13
	細菌性赤痢	4	1	2	4	41	18	383
	腸チフス	1			1	12	1	29
	パラチフス		1		1	7	1	16
	急性灰白髄炎							
	ジフテリア							
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	2	4	3	23	49	627
四類 (全数届出)	アメ・バ赤痢	1	5	4	3	48	4	193
	エキノкокクス症							4
	黄熱							
	オウム病		1			2		36
	回帰熱							
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)	2	5	4	7	104	18	515
	Q熱	8			7	19		22
	狂犬病							
	クリプトスポリジウム症					3		98
	クロイツフェルト・ヤコブ病					3		58
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1			4		44
	後天性免疫不全症候群	7	6	8	14	151	17	346
	コクシジオイデス症							2
	ジアルジア症	2	1	2	1	29	2	50
	腎症候性出血熱							
	髄膜炎菌性髄膜炎							2
	先天性風疹症候群							
	炭疽							
	ツツガムシ病					6	1	102
	デング熱					7	1	24
	日本紅斑熱							1
	日本脳炎							
	乳児ボツリヌス症							
	梅毒	2		1	2	26	1	219
	破傷風					2	2	33
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					3		16
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
ブルセラ症					1		1	
発疹チフス								
マラリア	1		2		12	1	36	
ライム病					1		1	
レジオネラ症					8	1	41	

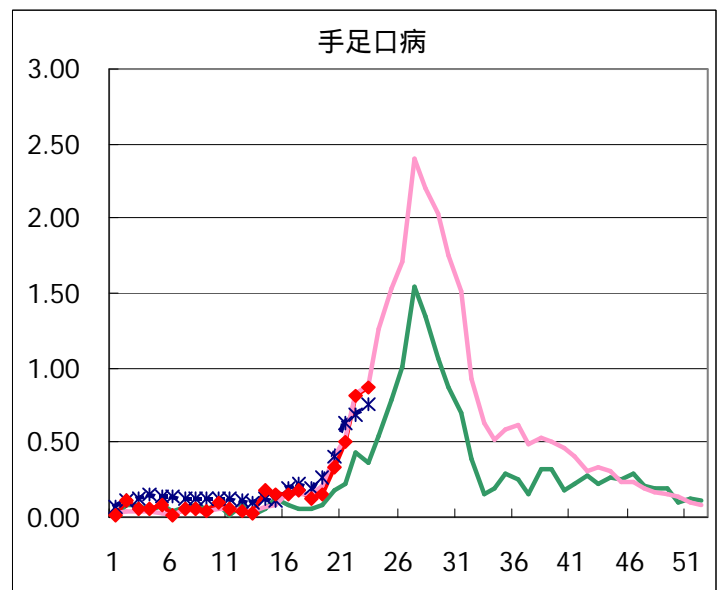
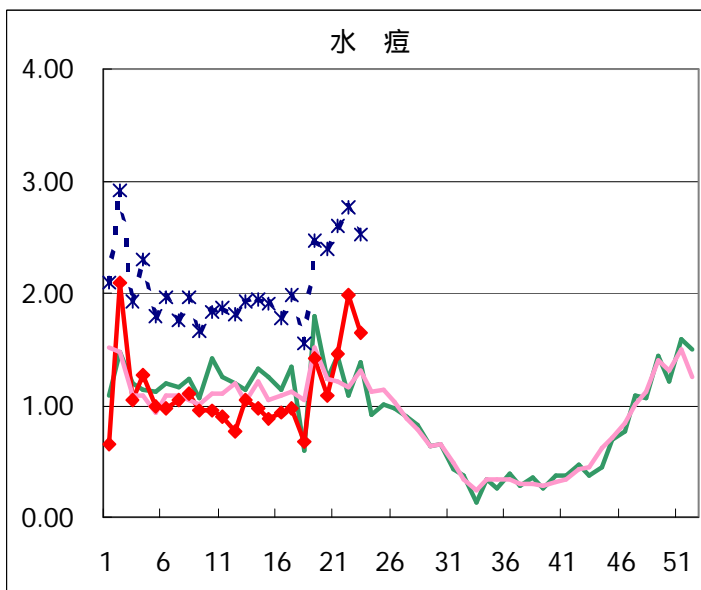
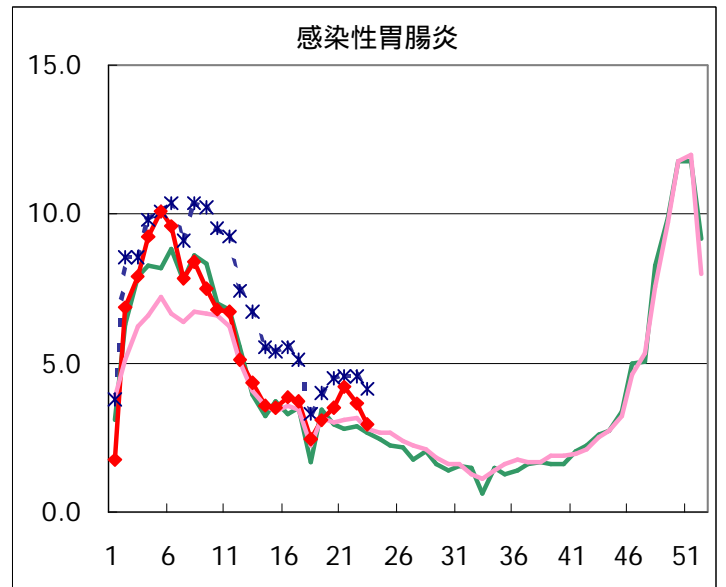
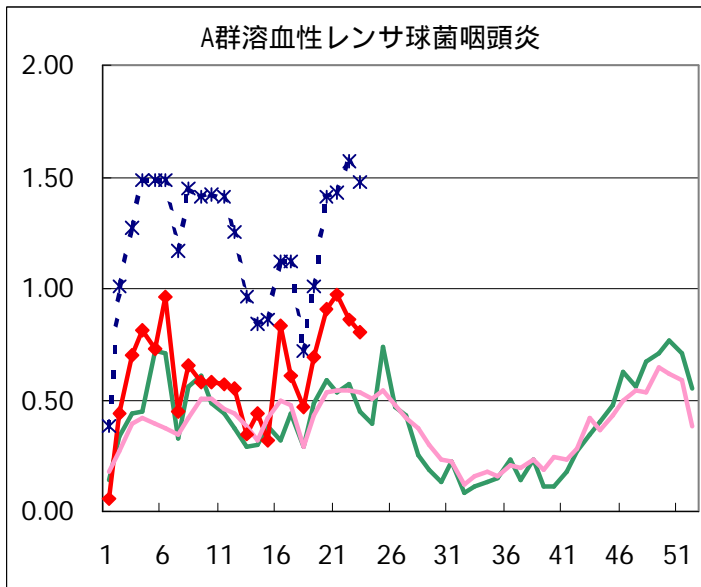
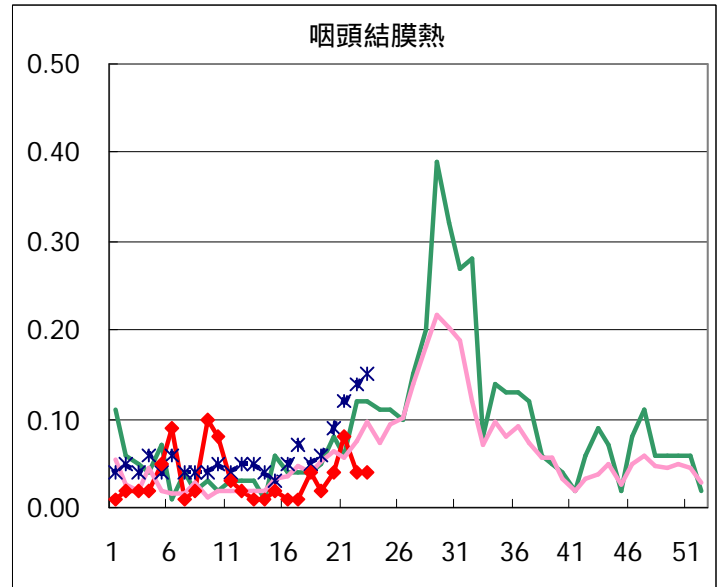
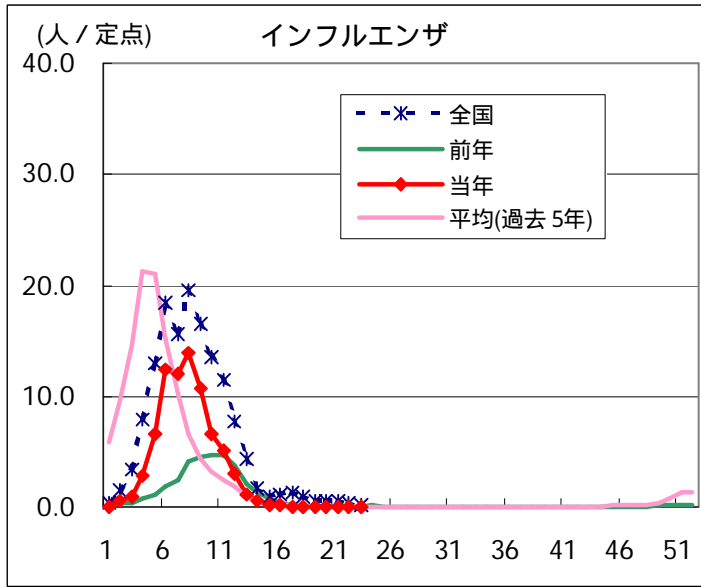
医師からの追加届出により増加することがあります(2002/06/17集計)。

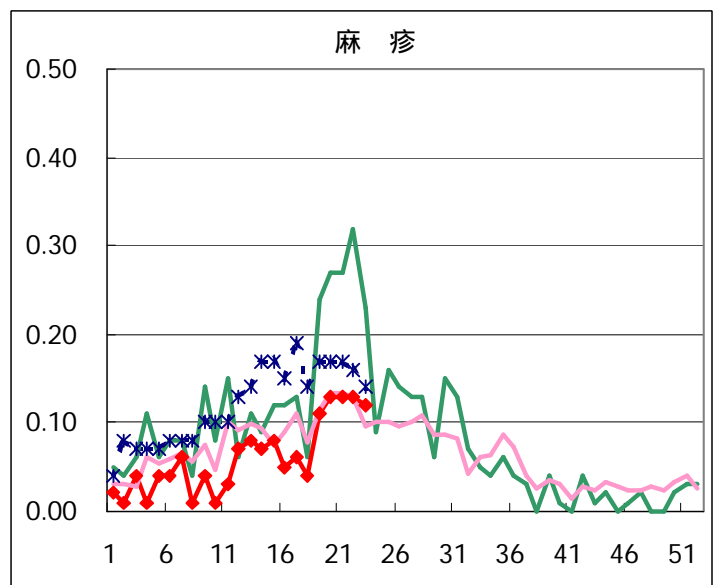
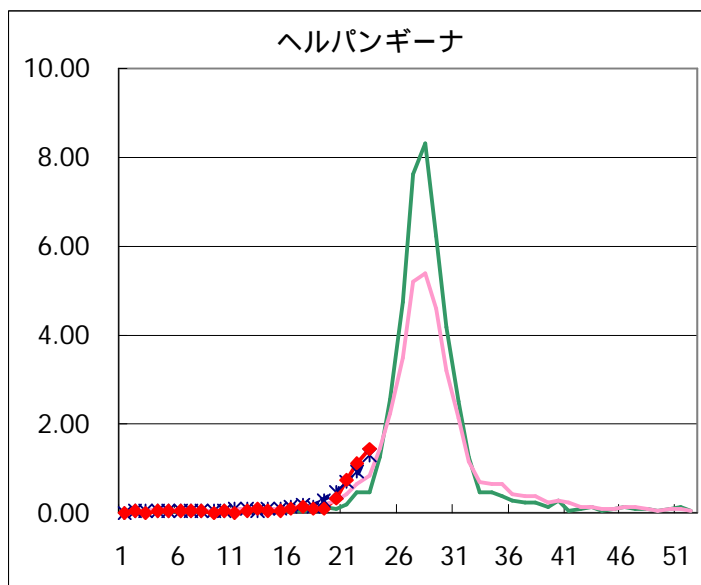
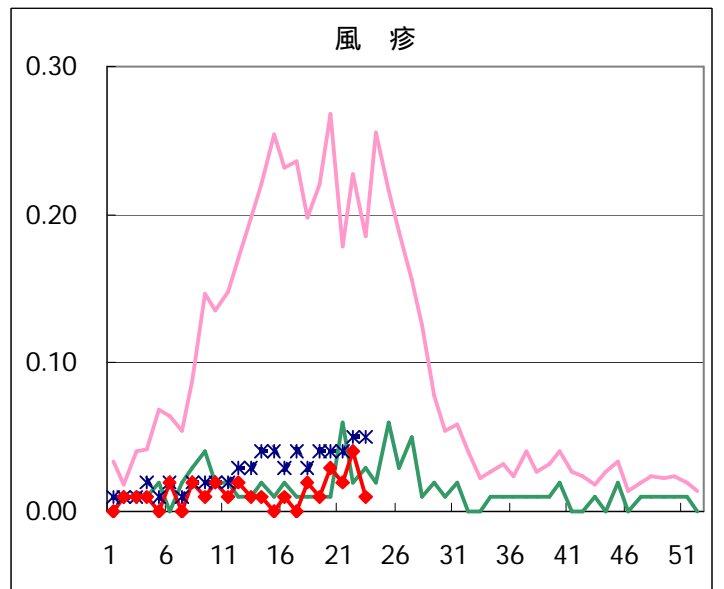
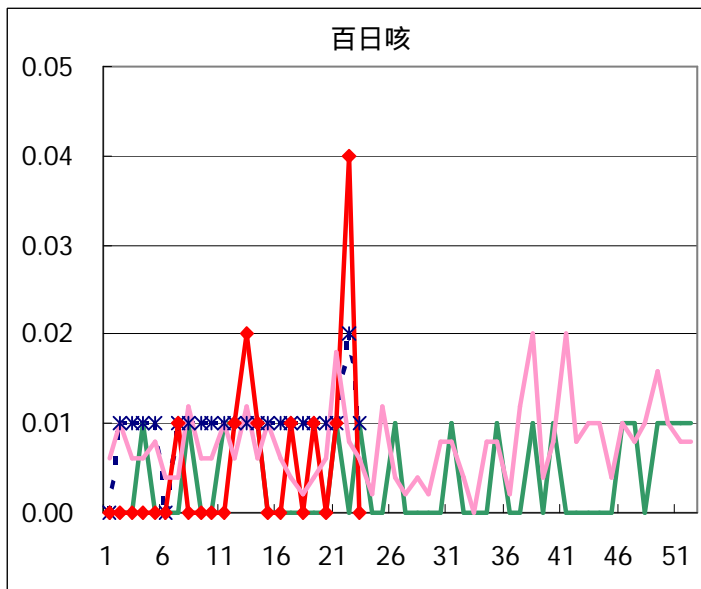
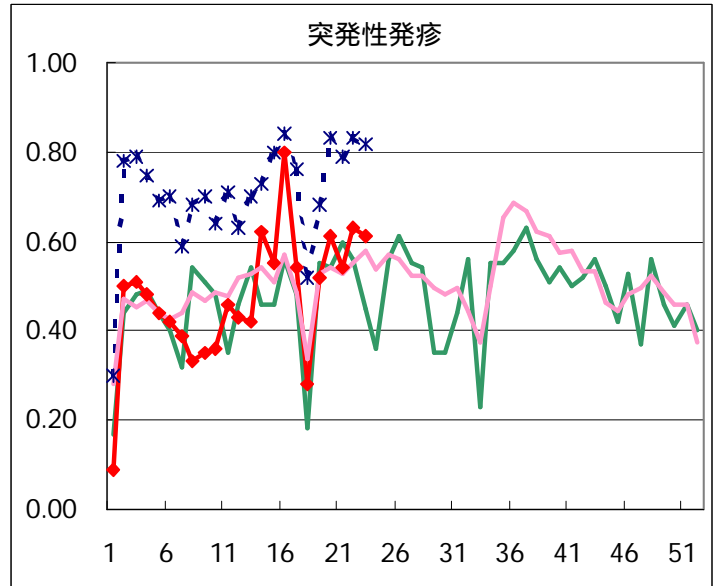
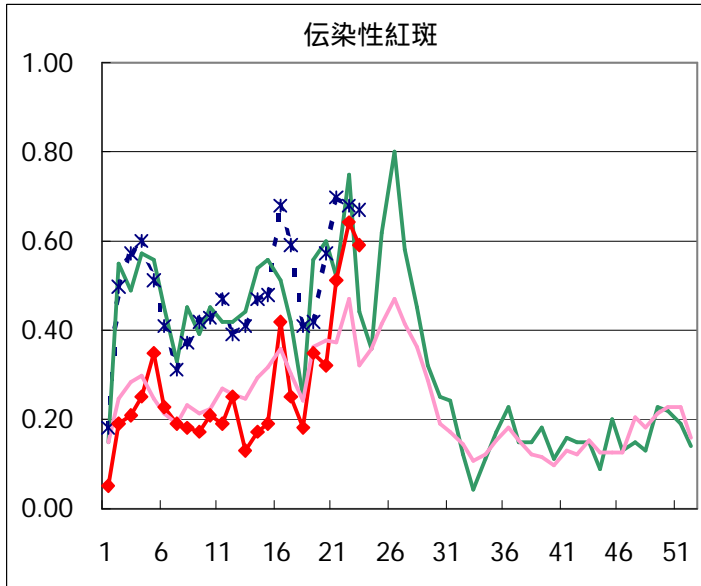
定点報告疾病集計表（男女別）

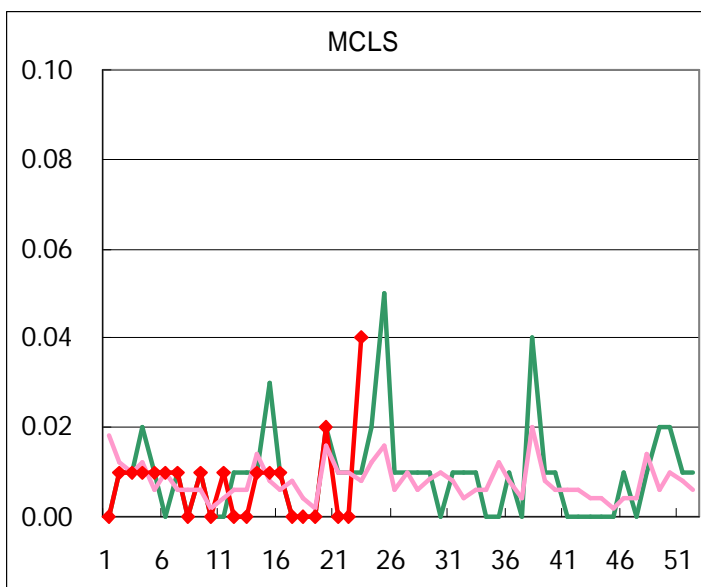
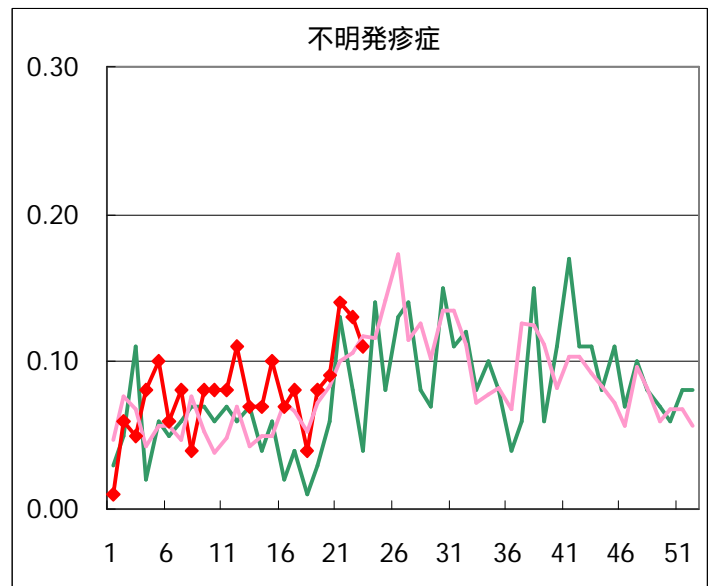
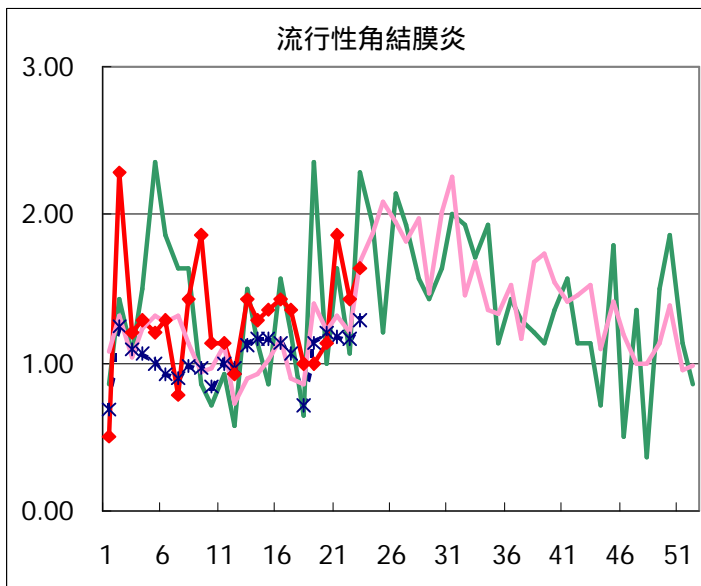
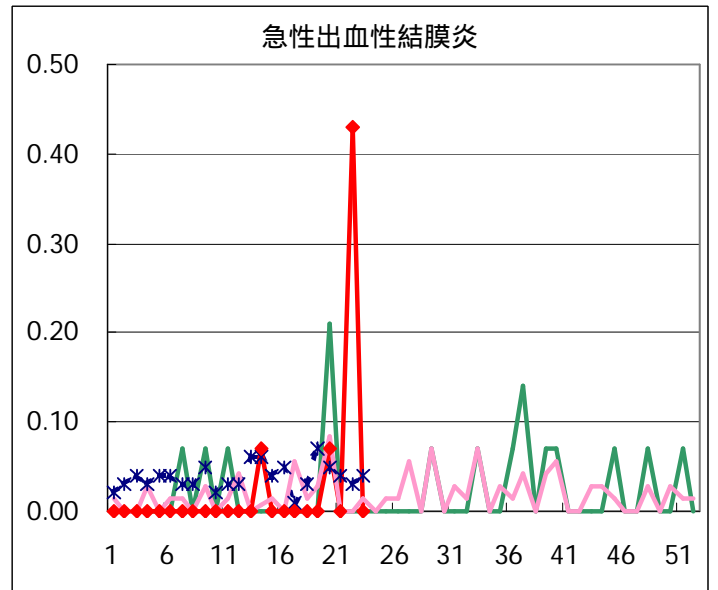
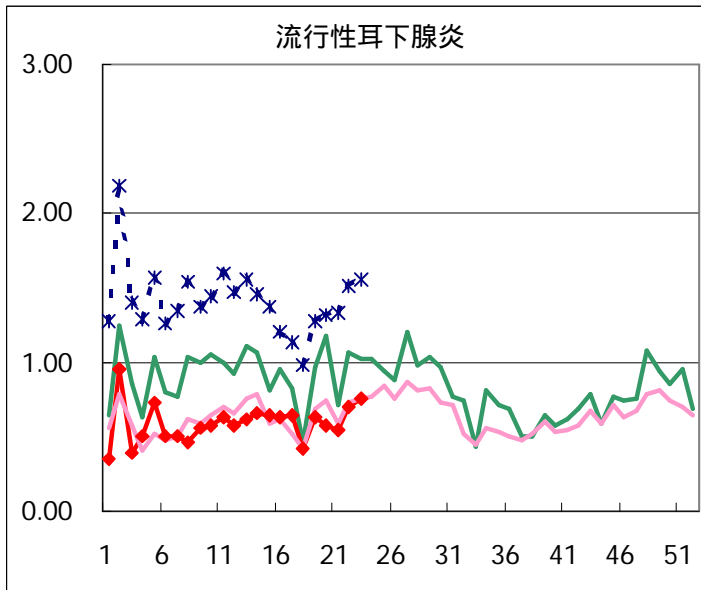
疾病名	性	2002年 週				累計
		20	21	22	23	
インフルエンザ	男	4	4			8
	女	2	1			3
咽頭結膜熱	男	3	5	1	3	12
	女	3	6	4	2	15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	78	77	66	67	288
	女	51	61	56	46	214
感染性胃腸炎	男	248	344	276	219	1087
	女	248	258	237	194	937
水痘	男	83	118	147	131	479
	女	71	90	135	102	398
手足口病	男	26	39	63	70	198
	女	21	33	54	54	162
伝染性紅斑	男	21	41	46	34	142
	女	25	32	45	50	152
突発性発疹	男	40	41	55	50	186
	女	46	36	35	37	154
百日咳	男		1	3		4
	女		1	2		3
風疹	男	3	2	4	1	10
	女	1	1	1		3
ヘルパンギーナ	男	18	49	78	107	252
	女	27	59	80	96	262
麻疹(成人以外)	男	9	10	6	13	38
	女	10	8	6	4	28
流行性耳下腺炎	男	51	48	51	52	202
	女	31	28	55	56	170
不明発疹症	男	4	12	9	5	30
	女	9	8	10	10	37
MCL S	男	1			3	4
	女	2			2	4
急性出血性結膜炎	男	1		2		3
	女			4		4
流行性角結膜炎	男	11	16	9	10	46
	女	5	10	11	13	39
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男					
	女	1				1
細菌性髄膜炎	男			1		1
	女	1				1
無菌性髄膜炎	男		1			1
	女	2	1			3
マイコプラズマ肺炎	男			1	2	3
	女			1		1
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男					
	女					
成人麻疹	男	1	3			4
	女	4	5	2	1	12

「累計」欄は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです。空欄は、報告がなかったことを示しています。

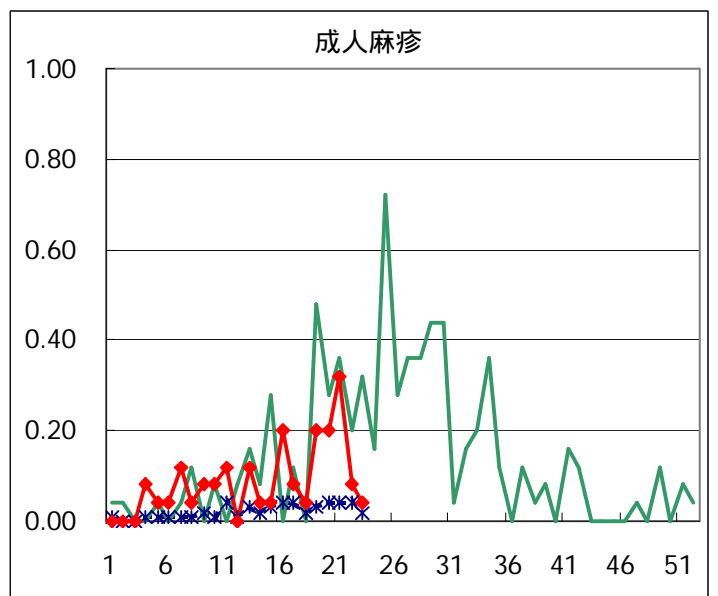
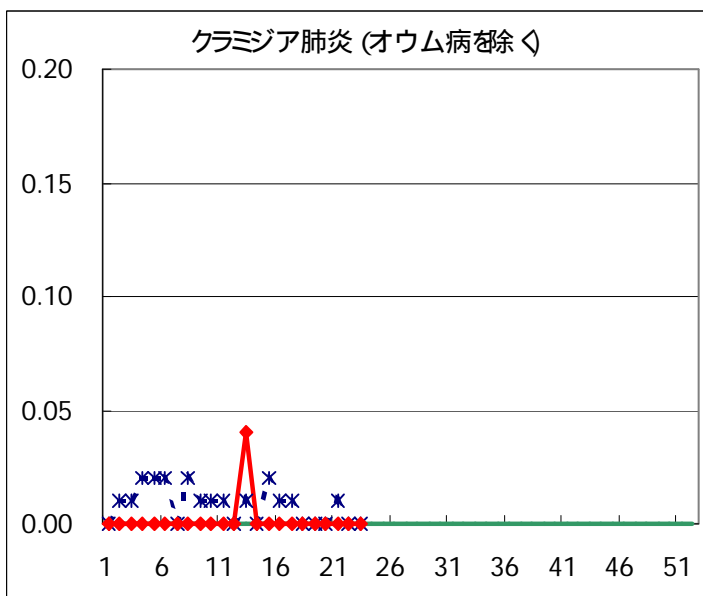
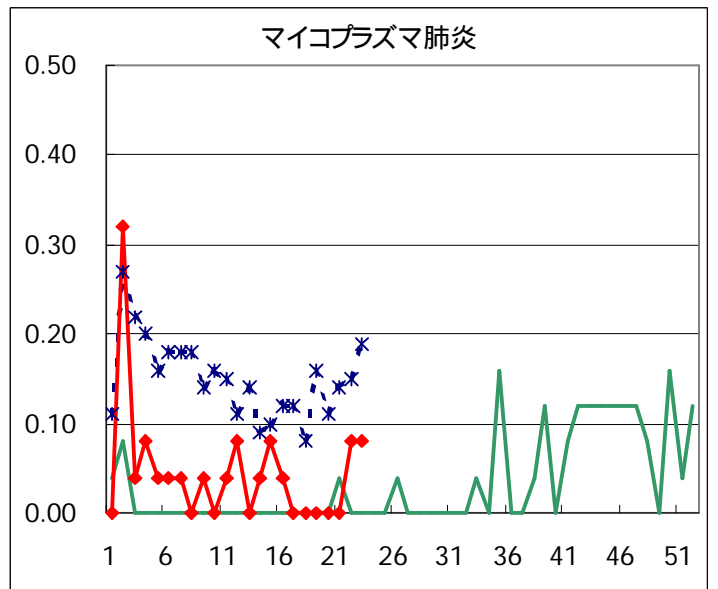
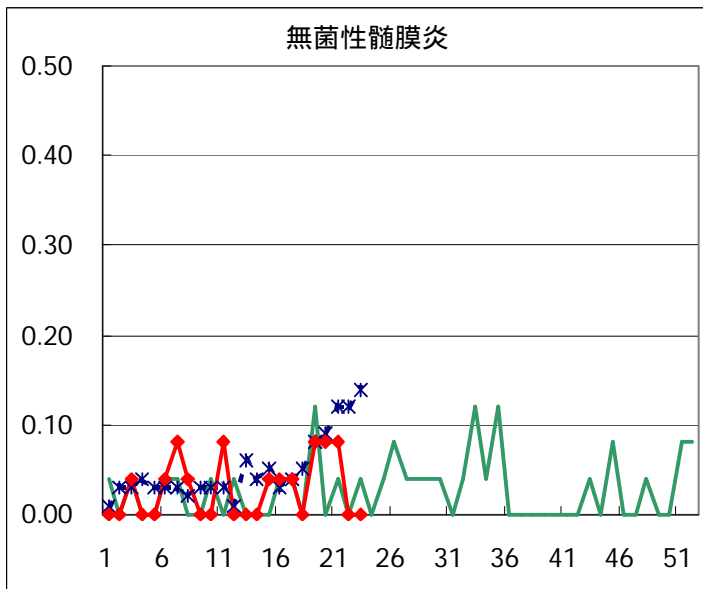
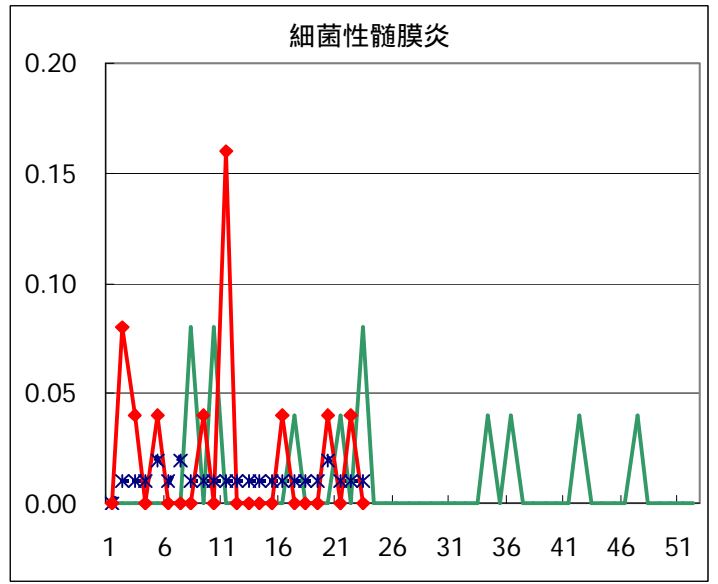
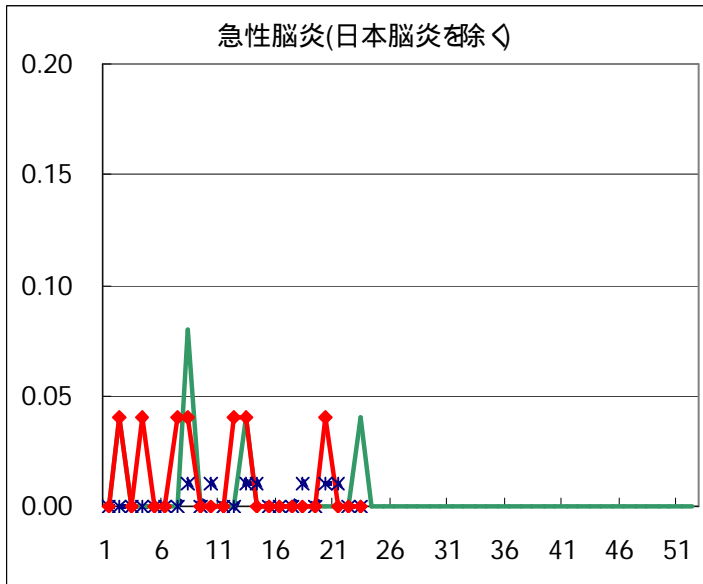
疾病別グラフ (四類定点週報告分)







疾病別の定点医療機関数	
疾 病	医療機関数
インフルエンザ	178
急性出血性結膜炎	14
流行性角結膜炎	
急性脳炎	25
細菌性髄膜炎	
無菌性髄膜炎	
マイコプラズマ肺炎	
クラミジア肺炎	
成人麻疹	142
上記を除く疾病	



病原体検出情報

週別病原体 抗体検出結果 (2002年 16~ 23週)

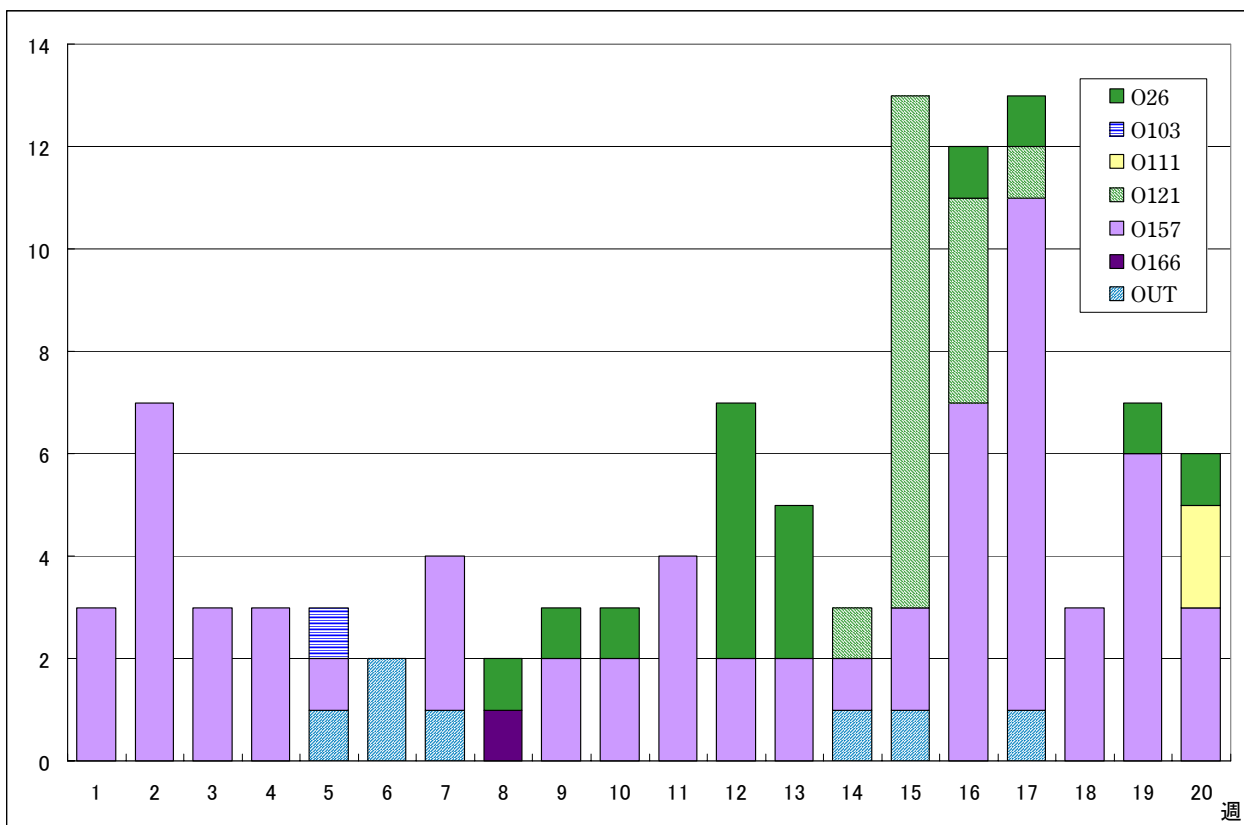
検出病原体 抗体		検体採取週								合計	
		2002年									
		16	17	18	19	20	21	22	23		
ウイルス	インフルエンザAソ連型										
	インフルエンザA香港型										
	インフルエンザB型										
	RSV										
	アデノ	3	4	6	7	2	5	7	3	37	
	エンテロ	2	1		1	3	10	9	6	32	
	SRSV=NLV	34	3	18	23	2	45	20	5	150	
	ロタ	1	2	1			3	1	2	10	
	単純ヘルペス			1			1	2		4	
	水痘 帯状疱疹		1		1					2	
	EBV						1			1	
	CMV										
	HHV6/7			3		1		1		5	
	ムンプス	5			3			2		10	
	麻疹					3				3	
	パルボB19		1					1		2	
	分離型別	ポリオ1							1		1
		ポリオ2							1		1
		アデノ1					2		1		3
		アデノ2	1		1		3				5
		アデノ3									
	抗体	デング						1	1		2
		ツツガムシ									
電顕											
細菌	カンピロバクター					1			2	3	
	サルモネラ						1			1	
	下痢原性大腸菌										
	エロモナス										
	O157										
	MRSAコアグラッセ 型				2		1			3	
	MRSAコアグラッセ 型		1	8	7	1	6	2	4	29	
	MRSAコアグラッセ 型	1							1	2	
	MSSAコアグラッセ 型										
	溶連菌 T-1型		2		5		1		3	11	
	溶連菌 T-3型		2	1	3				3	9	
	溶連菌 T-4型							1	3	4	
	溶連菌 T-6型										
	溶連菌 T-12型		1	1	2		1		1	6	
	溶連菌 T-22型										
	溶連菌 T-25型						1			1	
	溶連菌 T-28型				1		1	1		3	
溶連菌 UT			1	1		1			3		
性感染症	梅毒		2		3	1			1	7	
	クラミジア抗体	9	15	1	15	21	18	7	13	99	
	クラミジア遺伝子	1		1	2	3	1	3	2	13	
	淋菌遺伝子			1		1				2	

臨床診断名別病原体検出結果 (2002年 16~ 23週)

臨床診断名 検出病原体	イン フル エン ザ (脳 を 含 む)	上 気 道 炎	下 気 道 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	脳 炎	ヘ ル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	発 疹 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	口 内 炎	水 痘	そ の 他	合 計
インフルエンザAソ連型																	
インフルエンザA香港型																	
インフルエンザB型																	
RSV																	
アデノ	1	9	12	1		8			1			4				1	37
アデノ1		1														2	3
アデノ2		3	2														5
アデノ3																	
エンテロ		2	2			2	10		4	4		3				5	32
ポリオ1												1					1
ポリオ2						1											1
ムンプス							4						3			3	10
SRSV = NLV						150											150
ロタ						10											10
単純ヘルペス		1	2											1			4
水痘 帯状疱疹															2		2
パルボB19												2					2
カンピロバクター						3											3
サルモネラ						1											1
下痢原性大腸菌																	

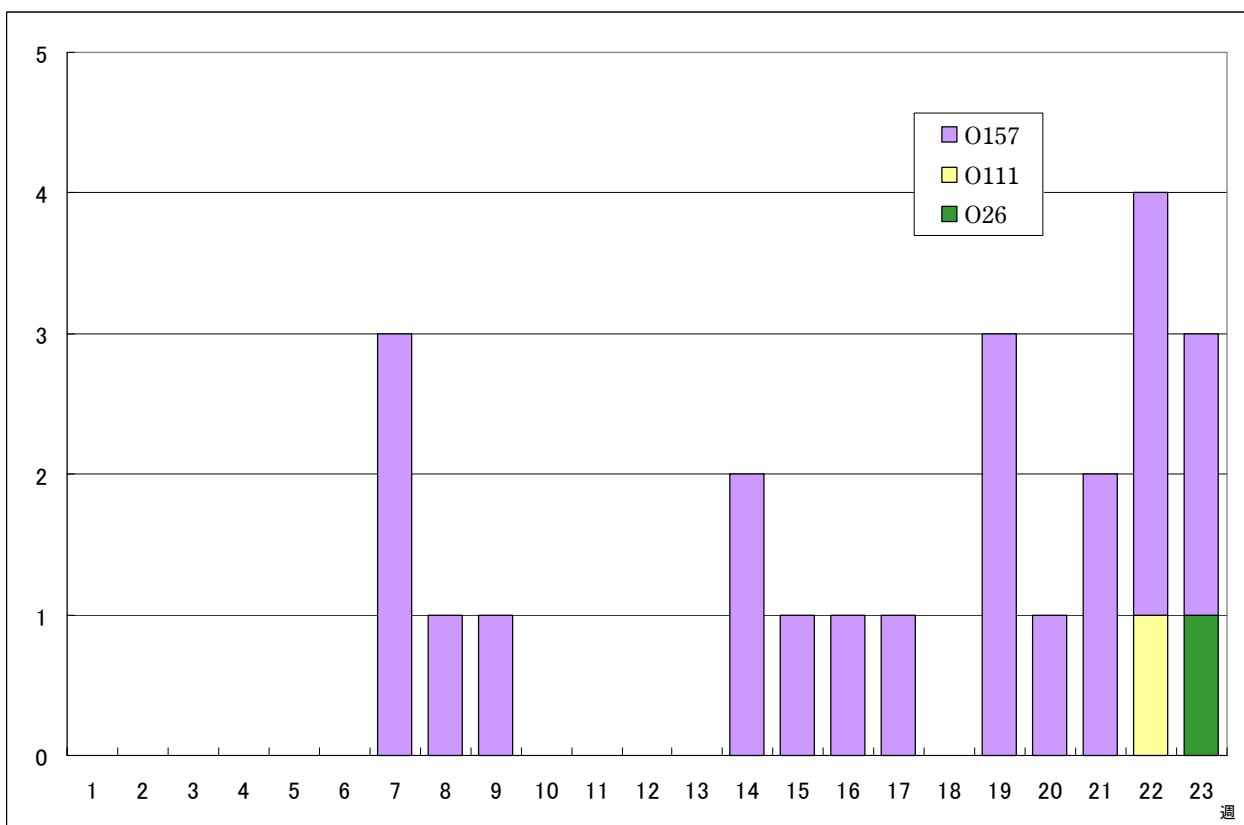
病原体検出情報（腸管出血性大腸菌感染症）

腸管出血性大腸菌感染症患者から検出された細菌（全国）



病原微生物検出情報(2002年5月27日現在報告数)

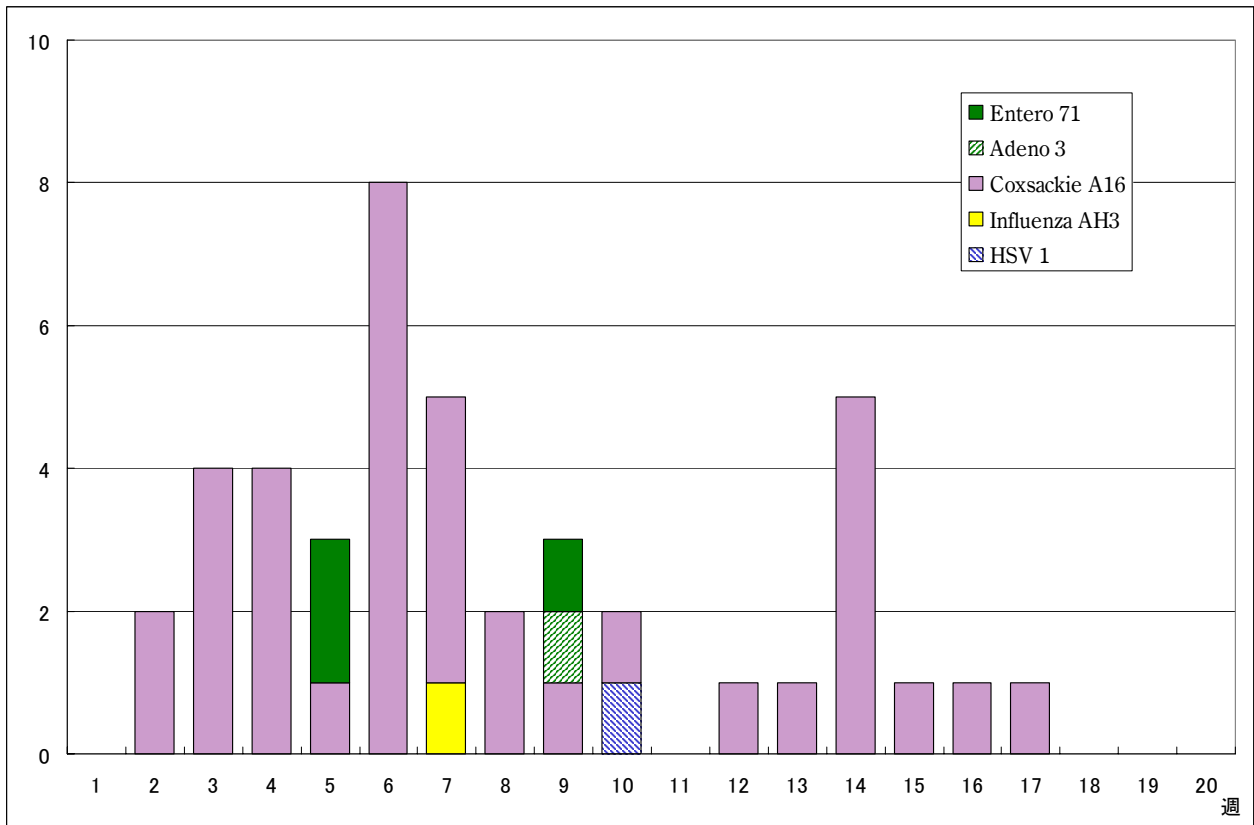
腸管出血性大腸菌感染症患者患者から検出された細菌（東京都）



感染症発生動向調査(東京都)

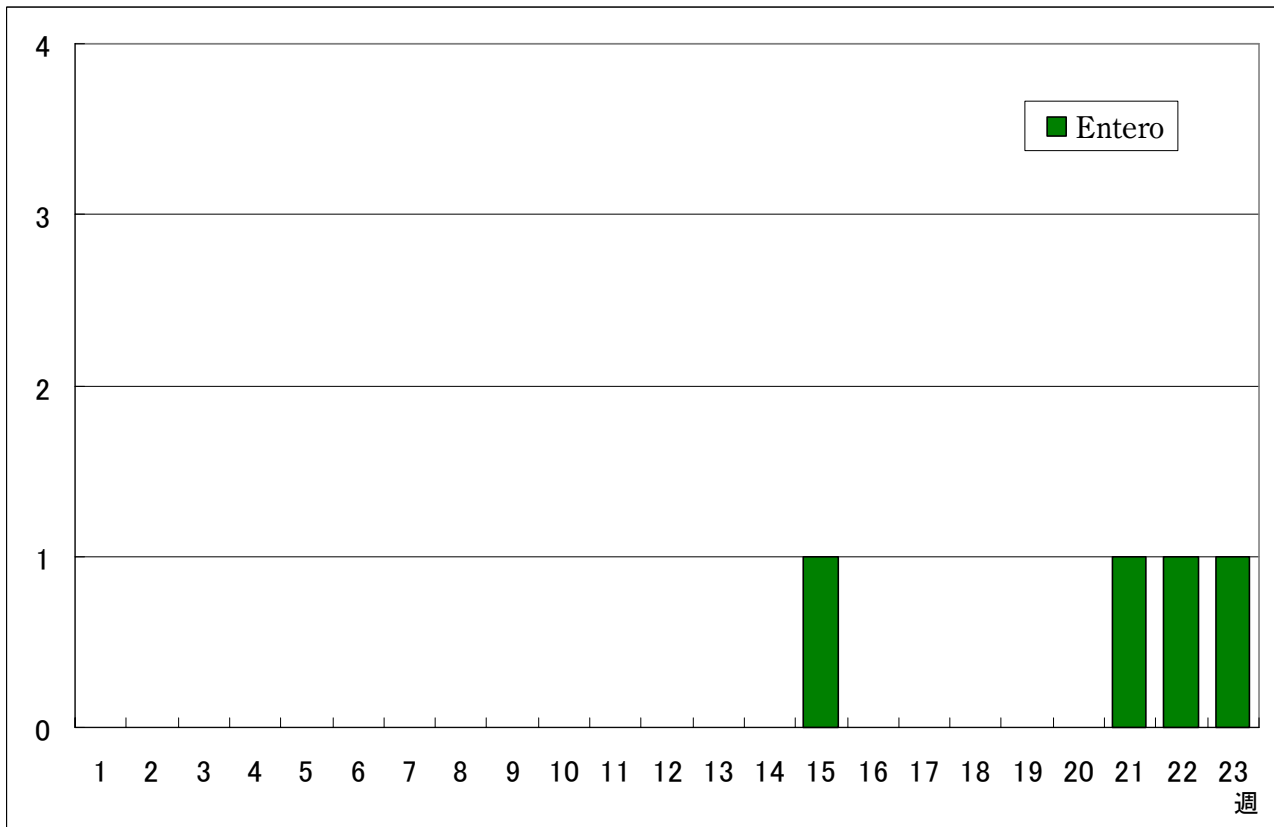
病原体検出情報（手足口病）

手足口病患者から検出されたウイルス（全国）



病原微生物検出情報（2002年5月27日現在報告数）

手足口病患者患者から検出されたウイルス（東京都）



微生物部ウイルス研究科

年齢階級別累計表(2002年 23週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	M C L S
～6ヶ月				5	3	1		8			1						
～1歳				17	17	16	4	50			17	5			1	3	
1歳		1	1	37	39	37	7	26			51	4	8			3	2
2歳		2	5	42	43	25	6	3			29		7			2	
3歳		2	7	50	38	13	6				32	2	14		1	2	3
4歳			20	46	38	8	8				32	2	18				
5歳			22	32	26	12	20				16		17			2	
6歳			23	26	15	6	9				7		6			2	
7歳			13	23	7	2	8				6	2	19				
8歳			6	15	1	1	4				4	1	9				
9歳			2	7		2	6			1			2				
10～14歳			9	34	3	1	5				2	1	4			1	
15～19歳				15									1		3		
20～29歳			5	64	3		1				6		3		8		
30～39歳															5		
40～49歳															2		
50～59歳															2		
60～69歳																	
70～79歳															1		
80歳以上																	
合計	0	5	113	413	233	124	84	87	0	1	203	17	108	0	23	15	5
先週比	0	0	-9	-100	-49	7	-7	-3	-5	-4	45	5	2	-6	3	-4	5

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2002年23週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
千代田			2	1	4						2						2	11
中央区			2	5	2	3	1	1			6							20
みなと			5	6	1	1	1	1			3				1			19
新宿区			1	13	5	5		1			13		1		13	3		55
文京				4	2	1	2	1				4			3			17
台東			3	11	7	10	1	2			24		5				1	64
墨田区		1		4	6	4		2					2					19
江東区			2	10	7	5	1	4			10		3		1		1	44
品川区		1	3	32	6	12	1	6			13		5					79
目黒区			10	3	1	1		2				1	4			1		23
大田区		1	13	46	19	1	13	7			12	2	6			2		122
世田谷区			4	39	7	1	4	9			4		6			3		77
渋谷区		1	4	20	1	4		2			4		4					40
中野区			5	31	10	10	2	5			2		2					67
杉並			5	7	8		1	2			2		3					28
池袋				1	1			1					6					9
長崎				1	1			1					1					4
北区			11	7	8		5	7			12	2	7					59
荒川区				1	3	1	1			1	2		1		2			12
板橋区			3	7	1	3	2	1			1							18
練馬区			4	8	10	4	6	3			7		3					45
足立				11	17	1	1	4			7							41
葛飾			5	14	13	7		7			24	2	7			3		82
江戸川			7	20	3	3		3			12	3	1					52

保健所別累計表 (2002年23週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
多摩川			2	2	13	8	22	5			1		5					58
秋川		1	4	6		17	2	2			2		3					37
八王子			1	1	2	5	1	1			1		3		1			16
南多摩			3	2	3		5				10		4					27
町田				30	2		1	2			8	3	3		1	1		51
多摩立川				7	5	1	1						1					15
村山大和				5	5	3							1		1			15
府中小金井			1	1	5						1		2					10
狛江調布			6	7	10	5	1				4		6					39
三鷹武蔵野			2	13	18	2	6				1		5					47
多摩小平			1	10	9	4	2	3			6		5					40
多摩東村山			4	26	7	2	1	2			2		3			2	1	50
島しょ				1	11						7							19

東京都合計	-	5	113	413	233	124	84	87	-	1	203	17	108	-	23	15	5	1431
定点当り報告数	-	0.04	0.80	2.91	1.64	0.87	0.59	0.61	-	0.01	1.43	0.12	0.76	-	1.64	0.11	0.04	

保健所別累計表（定点当り） 2002年23週

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
千代田			0.50	0.25	1.00						0.50						0.50
中央区			0.67	1.67	0.67	1.00	0.33	0.33			2.00						
みなと			0.83	1.00	0.17	0.17	0.17	0.17			0.50				1.00		
新宿区			0.17	2.17	0.83	0.83		0.17			2.17		0.17		6.50	0.50	
文京				1.33	0.67	0.33	0.67	0.33				1.33			3.00		
台東			1.00	3.67	2.33	3.33	0.33	0.67			8.00		1.67				0.33
墨田区		0.33		1.33	2.00	1.33		0.67					0.67				
江東区			0.67	3.33	2.33	1.67	0.33	1.33			3.33		1.00		1.00		0.33
品川区		0.17	0.50	5.33	1.00	2.00	0.17	1.00			2.17		0.83				
目黒区			3.33	1.00	0.33	0.33		0.67				0.33	1.33			0.33	
大田区		0.11	1.44	5.11	2.11	0.11	1.44	0.78			1.33	0.22	0.67			0.22	
世田谷区			0.50	4.88	0.88	0.13	0.50	1.13			0.50		0.75			0.38	
渋谷区		0.25	1.00	5.00	0.25	1.00		0.50			1.00		1.00				
中野区			0.83	5.17	1.67	1.67	0.33	0.83			0.33		0.33				
杉並			0.83	1.17	1.33		0.17	0.33			0.33		0.50				
池袋				0.25	0.25			0.25					1.50				
長崎				1.00	1.00			1.00					1.00				
北区			2.75	1.75	2.00		1.25	1.75			3.00	0.50	1.75				
荒川区				0.50	1.50	0.50	0.50			0.50	1.00		0.50		2.00		
板橋区			0.50	1.17	0.17	0.50	0.33	0.17			0.17						
練馬区			0.80	1.60	2.00	0.80	1.20	0.60			1.40		0.60				
足立				2.75	4.25	0.25	0.25	1.00			1.75						
葛飾			1.25	3.50	3.25	1.75		1.75			6.00	0.50	1.75			0.75	
江戸川			1.75	5.00	0.75	0.75		0.75			3.00	0.75	0.25				

保健所別累計表（定点当り） 2002年23週

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
多摩川			0.67	0.67	4.33	2.67	7.33	1.67			0.33		1.67				
秋川		0.50	2.00	3.00		8.50	1.00	1.00			1.00		1.50				
八王子			0.50	0.50	1.00	2.50	0.50	0.50			0.50		1.50		1.00		
南多摩			1.00	0.67	1.00		1.67				3.33		1.33				
町田				15.00	1.00		0.50	1.00			4.00	1.50	1.50		1.00	0.50	
多摩立川				1.75	1.25	0.25	0.25						0.25				
村山大和				2.50	2.50	1.50							0.50		1.00		
府中小金井			0.33	0.33	1.67						0.33		0.67				
狛江調布			2.00	2.33	3.33	1.67	0.33				1.33		2.00				
三鷹武蔵野			0.50	3.25	4.50	0.50	1.50				0.25		1.25				
多摩小平			0.33	3.33	3.00	1.33	0.67	1.00			2.00		1.67				
多摩東村山			1.33	8.67	2.33	0.67	0.33	0.67			0.67		1.00			0.67	0.33
島しょ				1.00	11.00						7.00						

東京都合計	-	5	113	413	233	124	84	87	-	1	203	17	108	-	23	15	5
定点当り報告数	-	0.04	0.80	2.91	1.64	0.87	0.59	0.61	-	0.01	1.43	0.12	0.76	-	1.64	0.11	0.04

発生動向総覧（月報告分） 2002年5月分

（性感染症）

性器クラミジア感染症の報告数は男が前月よりやや増加し、女は減少した。いずれも過去5年平均に比べてやや多い。

性器ヘルペスウイルス感染症の報告数は男は横這いで過去5年平均を下回っているが、女は前月より増加し、過去5年平均とほぼ同水準である。

尖形コンジロームの報告数は男女ともに前月より減少し、過去5年平均と同水準である。

淋菌感染症の報告数は男女ともに横這いで、過去5年平均に比べて男はやや少なく、女はほぼ同水準である。

トリコモナス症（女）の報告数は昨年後半から年明けにかけて増加し、過去5年平均を大幅に上回ったが、2月から4月にかけて急減した。今月は前月に比べて横這いで、過去5年平均と同水準で推移している。

梅毒様疾患の報告数は男女ともに2例で、男は前月に比べて減少したが、女は1月以来4ヶ月ぶりの報告となった。

（基幹定点疾病）

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の報告数は前月に比べて増加し、昨年同期を上回っている。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の報告数は前月に比べてやや減少したが、4ヶ月連続で前年同期を上回っている。

薬剤耐性緑膿菌感染症は前月と比べてほぼ横這いで、前年同期よりも多い。

（病原体情報）

血清21件中1件から梅毒抗体、13件からクラミジア・トラコマチス特異抗体（IgA抗体10件）が検出された。

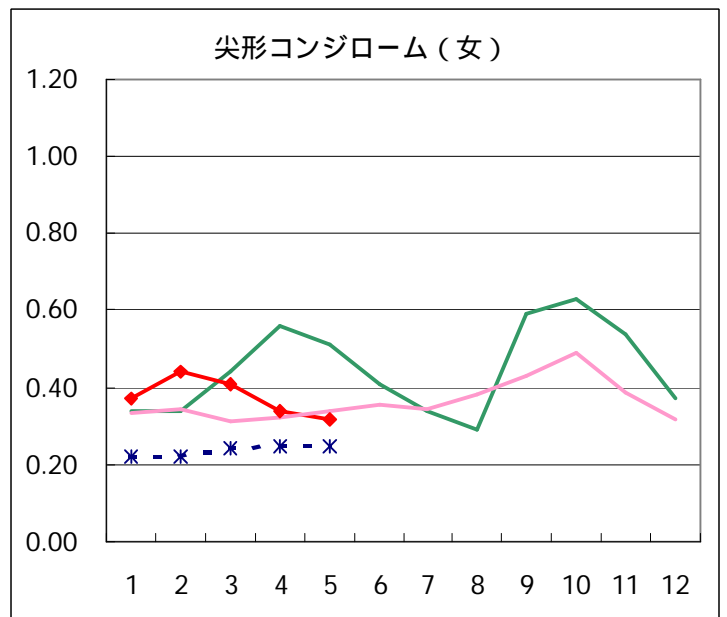
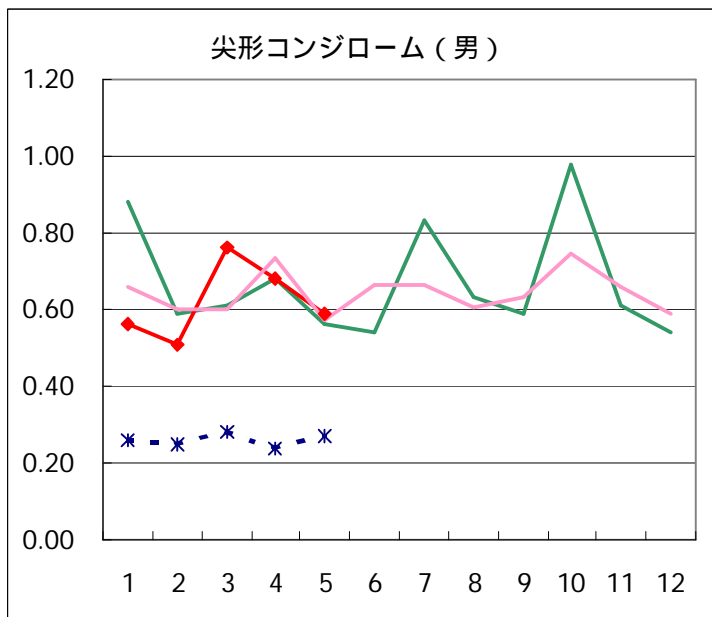
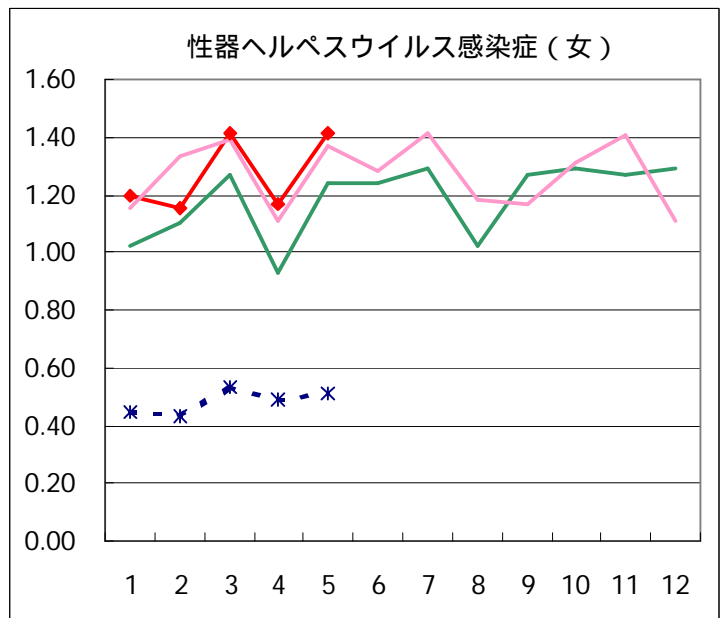
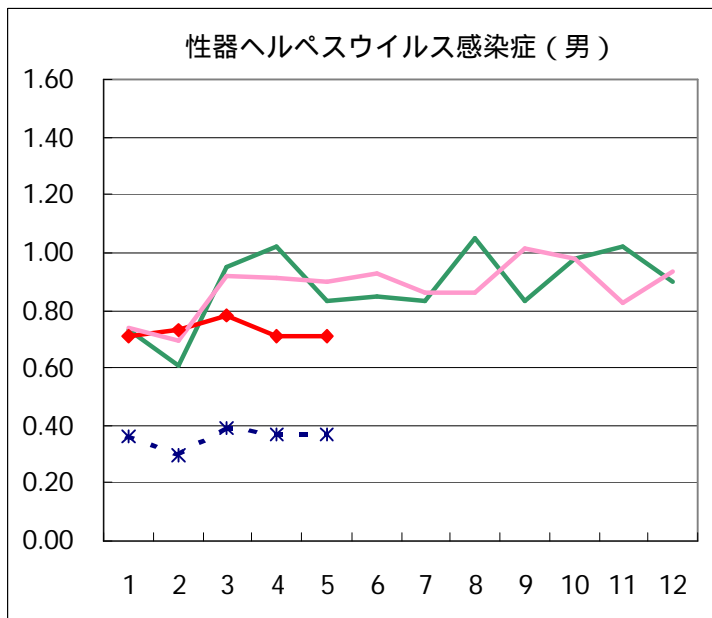
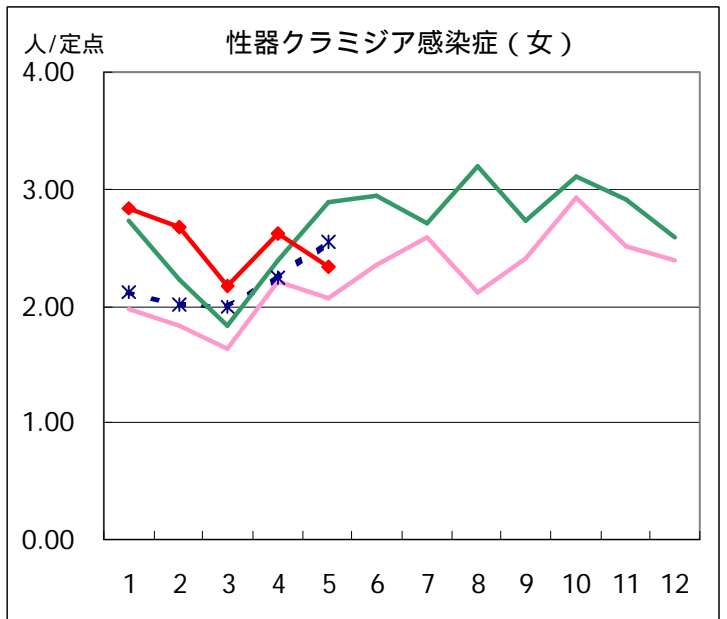
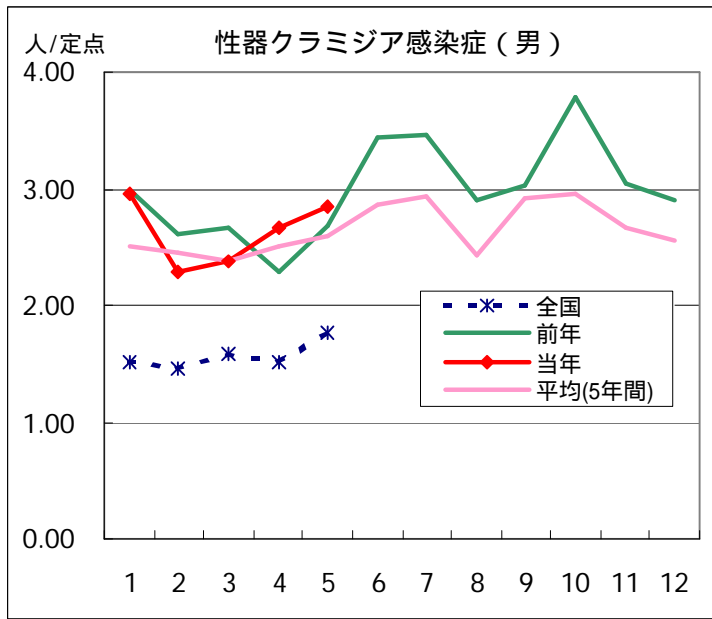
頸管拭い液58件中10件からクラミジア・トラコマチス遺伝子が、1件から淋菌遺伝子が検出された。

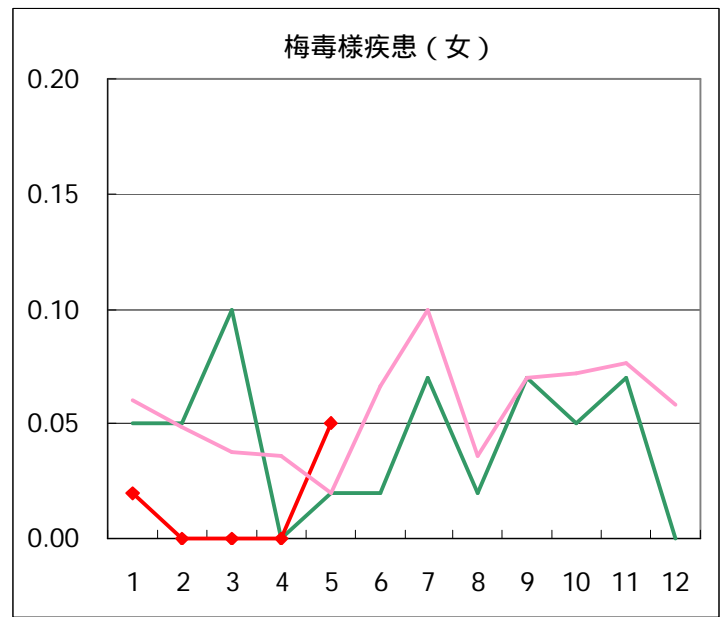
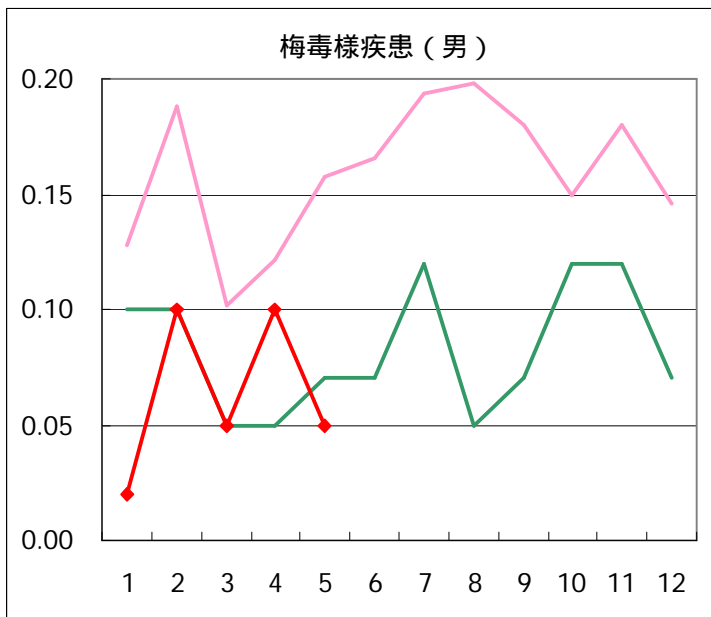
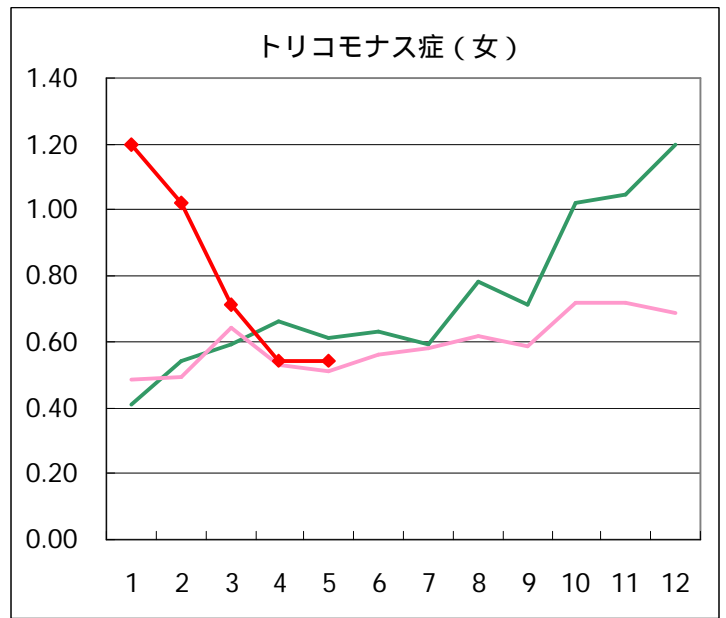
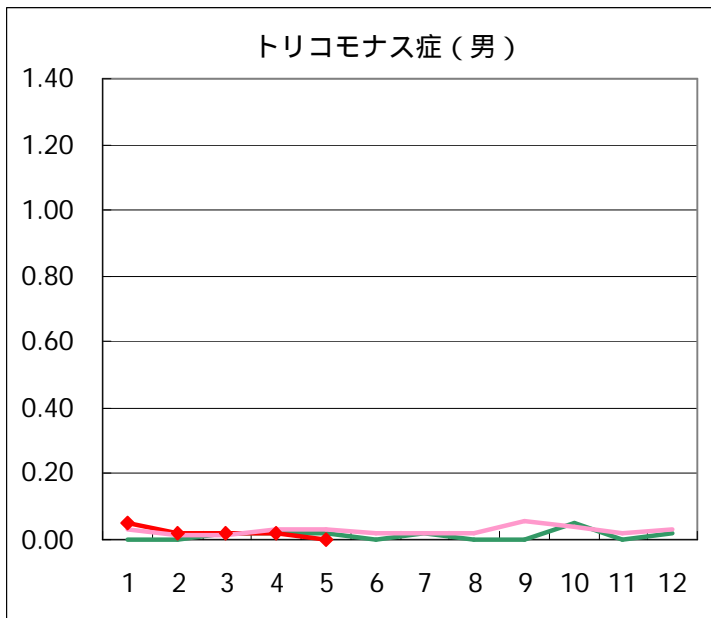
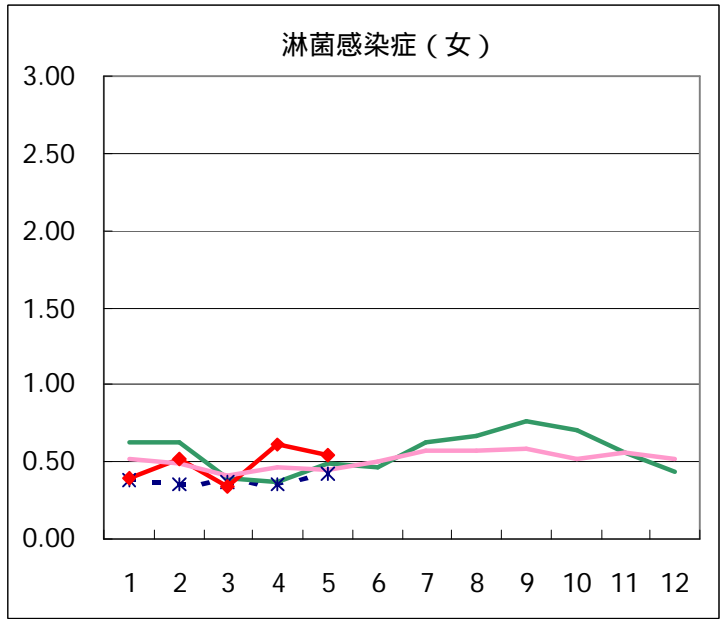
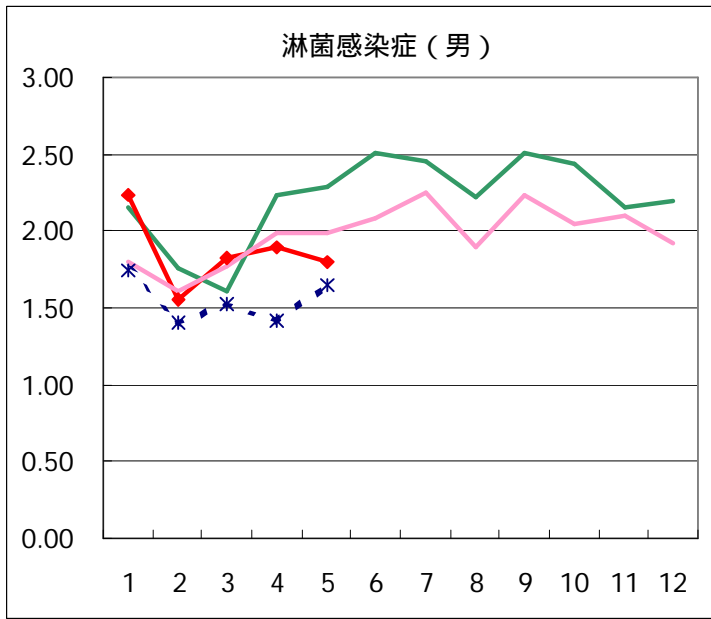
クラミジア・トラコマチス遺伝子が検出された者のうちの1名の血清からクラミジア・トラコマチス特異IgA抗体、他の1名の血清からはIgG抗体、他の1名からは淋菌遺伝子が検出された。

調査票通信 定点医療機関からのコメントを掲載

今月は、定点医療機関からのコメントはありません。

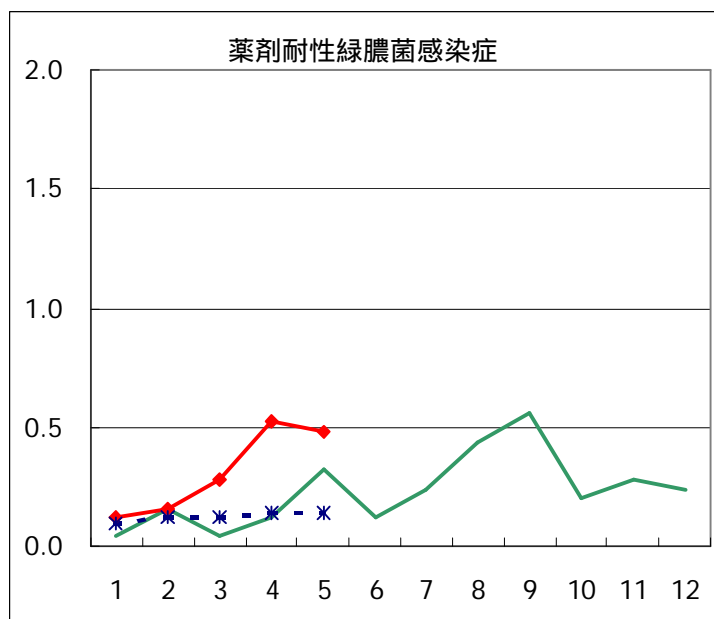
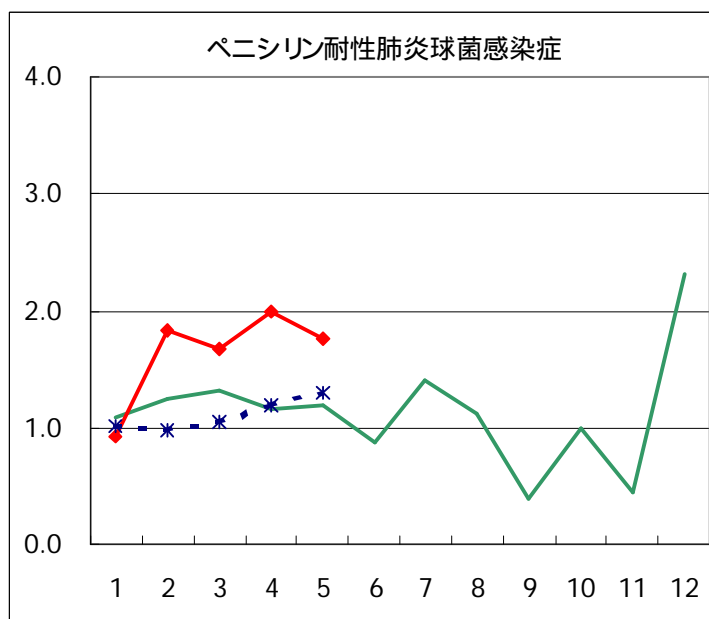
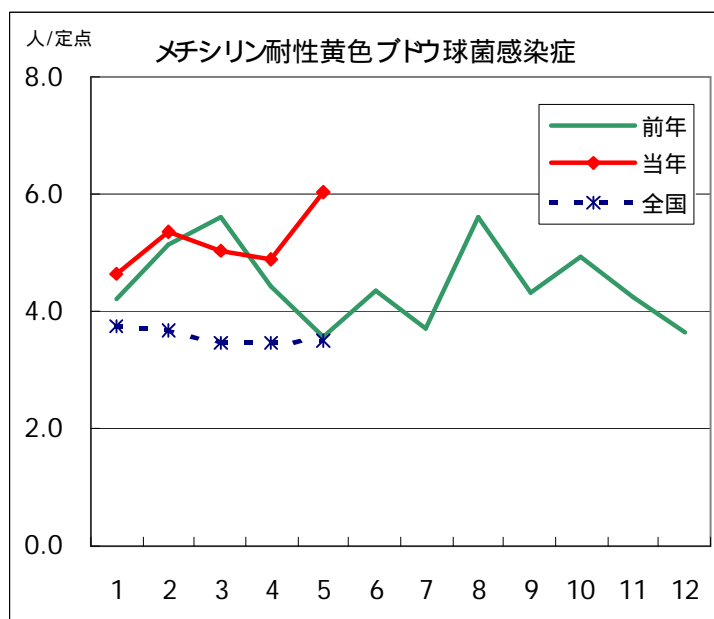
疾病別グラフ (四類定点月報告分)





基幹定点報告疾患集計 (2002年)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	116	134	126	122	151								649
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	23	46	42	50	44								205
薬剤耐性緑膿菌感染症	3	4	7	13	12								39



疾病別の定点医療機関数	
疾 病	医療機関数
梅 毒	41
淋菌様疾患	
性器クラミジア	
性器ヘルペス	
尖形コンジローム	
トリコモナス	25
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	
薬剤耐性緑膿菌感染症	

S T I 年齢階級別累計表（5月）

男						
	トリコモナス症	梅毒様疾患	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖形コンジローム	淋菌感染症
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳			2			
15～19歳			6		1	3
20～24歳			17	6	4	11
25～29歳		1	29	2	4	19
30～34歳			20	3	7	18
35～39歳		1	16	4	2	9
40～44歳			6	2	5	5
45～49歳			5	1		2
50～54歳			6	1	1	5
55～59歳			6	4		
60～64歳			2	2		1
65～69歳			2	1		1
70歳～				3		
合計	0	2	117	29	24	74
先月数	1	4	109	29	28	78
増減数	-1	-2	8	0	-4	-4

女						
	トリコモナス症	梅毒様疾患	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖形コンジローム	淋菌感染症
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	3	1	17	3		5
20～24歳	5		29	19	5	6
25～29歳	4	1	30	14	6	3
30～34歳	2		7	6	2	5
35～39歳			7	5		1
40～44歳	3		3	3		1
45～49歳	2		2	2		1
50～54歳	1		1	1		
55～59歳	1			1		
60～64歳				2		
65～69歳						
70歳～	1			2		
合計	22	2	96	58	13	22
先月数	22	0	107	48	14	25
増減数	0	2	-11	10	-1	-3

S T I 保健所別累計表（5月）

男								
保健所名	定点数	トリコモナス症	梅毒様疾患	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖形コンジローム	淋菌感染症	総計
中央区	2			2	1	1	2	6
みなと	2							
新宿区	5			14	3	3	12	32
文京	1							
台東	4						1	1
墨田区	1			4	3	2	3	12
江東区	3			22	4	4	24	54
品川区	1			4				4
大田区	3				1			1
渋谷区	3			9	1		1	11
中野区	1			10	1		3	14
池袋	3			27	7	7	11	52
北区	1						2	2
荒川区	1							
板橋区	2			9	3	1	2	15
足立	1			10	2	3	2	17
八王子	3							
町田	1							
多摩立川	2		1	2	1	1	5	10
三鷹武蔵野	1		1	4	2	2	6	15
合計	41		2	117	29	24	74	246
定点当り			0.05	2.85	0.71	0.59	1.80	6.00

女								
保健所名	定点数	トリコモナス症	梅毒様疾患	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖形コンジローム	淋菌感染症	総計
中央区	2			2				2
みなと	2	1		14	1		4	20
新宿区	5		1	8	11	7	5	32
文京	1							
台東	4	14	1	32	27	1	4	79
墨田区	1				2			2
江東区	3	2		3	2		2	9
品川区	1							
大田区	3			1				1
渋谷区	3			2	1			3
中野区	1							
池袋	3			11	3	4		18
北区	1							
荒川区	1			2	4	1		7
板橋区	2							
足立	1			1				1
八王子	3	5		11	2		1	19
町田	1			2			1	3
多摩立川	2			5	2		4	11
三鷹武蔵野	1			2	3		1	6
合計	41	22	2	96	58	13	22	213
定点当り		0.54	0.05	2.34	1.41	0.32	0.54	5.20

STI保健所別定点当り累計表（5月）

男							
保健所名	定点数	トリコモナス症	梅毒様疾患	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖形コンジローム	淋菌感染症
中央区	2			1.00	0.50	0.50	1.00
みなと	2						
新宿区	5			2.80	0.60	0.60	2.40
文京	1						
台東	4						0.25
墨田区	1			4.00	3.00	2.00	3.00
江東区	3			7.33	1.33	1.33	8.00
品川区	1			4.00			
大田区	3				0.33		
渋谷区	3			3.00	0.33		0.33
中野区	1			10.00	1.00		3.00
池袋	3			9.00	2.33	2.33	3.67
北区	1						2.00
荒川区	1						
板橋区	2			4.50	1.50	0.50	1.00
足立	1			10.00	2.00	3.00	2.00
八王子	3						
町田	1						
多摩立川	2		0.50	1.00	0.50	0.50	2.50
三鷹武蔵野	1		1.00	4.00	2.00	2.00	6.00

女							
保健所名	定点数	トリコモナス症	梅毒様疾患	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖形コンジローム	淋菌感染症
中央区	2			1.00			
みなと	2	0.50		7.00	0.50		2.00
新宿区	5		0.20	1.60	2.20	1.40	1.00
文京	1						
台東	4	3.50	0.25	8.00	6.75	0.25	1.00
墨田区	1				2.00		
江東区	3	0.67		1.00	0.67		0.67
品川区	1						
大田区	3			0.33			
渋谷区	3			0.67	0.33		
中野区	1						
池袋	3			3.67	1.00	1.33	
北区	1						
荒川区	1			2.00	4.00	1.00	
板橋区	2						
足立	1			1.00			
八王子	3	1.67		3.67	0.67		0.33
町田	1			2.00			1.00
多摩立川	2			2.50	1.00		2.00
三鷹武蔵野	1			2.00	3.00		1.00

2次医療圏別累計表（2002年5月） 総計 患者報告数

	トリコモナス症	梅毒様疾患	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖形コンジローム	淋菌感染症	総計
区中央部	15	1	50	29	2	11	108
区南部			5	1			6
区西南部			11	2		1	14
区西部		1	32	15	10	20	78
区西北部			47	13	12	15	87
区東北部			13	6	4	2	25
区東部	2		29	11	6	29	77
西多摩							
南多摩	5		13	2		2	22
北多摩西部		1	7	3	1	9	21
北多摩南部		1	6	5	2	7	21
北多摩北部							
島しょ							
計	22	4	213	87	37	96	459

2次医療圏別累計表（2002年5月） 総計 定点当たり発生数

	トリコモナス症	梅毒様疾患	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖形コンジローム	淋菌感染症	総計
区中央部	1.67	0.11	5.56	3.22	0.22	1.22	9
区南部			1.25	0.25			4
区西南部			3.67	0.67		0.33	3
区西部		0.17	5.33	2.50	1.67	3.33	6
区西北部			7.83	2.17	2.00	2.50	6
区東北部			6.50	3.00	2.00	1.00	2
区東部	0.50		7.25	2.75	1.50	7.25	4
西多摩							0
南多摩	1.25		3.25	0.50		0.50	4
北多摩西部		0.50	3.50	1.50	0.50	4.50	2
北多摩南部		1.00	6.00	5.00	2.00	7.00	1
北多摩北部							0
島しょ							0
計	0.54	0.10	5.20	2.12	0.90	2.34	41

つつが虫病

東京都医師会感染症予防検討委員会

つつが虫病(恙虫病)は、リケッチア *Orientia tsutsugamushi* を保有する一部の有毒ツツガムシ幼虫に「吸着」された人に起こる感染症で、主徴は刺し口、発熱、発疹である。テトラサイクリン系薬剤が有効で耐性株もないため、臨床所見でつつが虫病を疑った段階でのテトラサイクリン系薬剤投与による早期治療が重症化を防ぐために重要であり、診断・治療が遅れると死亡する場合もある。

急性期血液で血清抗体が検出できない場合には、血餅からの PCR による *O. tsutsugamushi* DNA 検出率が高く、血清診断と PCR の併用が勧められる。医師はつつが虫病患者の病原体診断または血清診断を行って速やかに最寄りの保健所へ届け出ること、保健所および感染症情報センターは、医療機関および一般への迅速な情報提供を行うことが、つつが虫病対策の基本として要求される。

比較的寒冷で冬に積雪がある東北・北陸地方などでは、秋から冬と春の両方、九州から関東地方までの温暖な地方では、秋から冬に発生が多く、その地域に分布するツツガムシの幼虫活動時期と関係している。1980年頃よりフトゲツツガムシ及びタテツツガムシによって媒介される新型つつが虫病患者が増加した。2000年は794例、2001年は460例が報告されている。患者の年齢は、60から70歳代がピークで、男がやや多い。推定感染場所は、山地・山間部が最も多く、アカツツガムシによって媒介される古典型つつが虫病の感染がよく見られた河川敷での感染は、激減している。感染時の作業の種類は、農作業が最も多く、森林作業、山菜・山芋採り、レジャー、工事などである。

(文責・山下和予)